

ここにいま

平成29年度西朝明中学校
学校通信 第10号
平成29年12月20日

2カ月あまり、発行できませんでした。お詫び申し上げます。

さて、明後日には第2学期終業式を迎えることになりました。この2学期は1年で最も長い学期で、だからこそと言えるのかどうか、行事も多数詰め込まれていて、生徒はさぞ大変な毎日だっただろうと思います。そんな忙しい毎日の中でも、きちんと着実に学習してくれていたのであれば、喜ばしい限りです。

学習は自身の知識や教養となって、将来の社会生活で生き抜くための素地を作るものです。中学生の今は、点数や評価で一喜一憂してしまうのも無理からぬことですが、人生という大きな視点で見れば、自分を豊かにしていくことに他ならないと言えます。だから、頑張ってみよう！ということになるのですが、生徒の皆さんではなかなかピンとこないことかもしれません。それならば、今の自分の納得のできる程度で良いから、とにかくやってみる、ということで構わない、とも思うのです。

生徒の皆さんの学習へのきっかけになればと始めた自主学習・厚物学習の顕彰は、次のようになっています。これは12月19日現在の数です。また、学年で比較することは妥当ではありません。学年により指導の方針ややり方の指示が異なります。さらには、3年生は学期ごとにしか顕彰がないからです。ただし、3年生は、3学期に一気に敢闘賞・優秀賞・最優秀賞が出ることになるので、今から楽しみです。

	努力賞（50回）	奨励賞（100回）	敢闘賞（150回）	優秀賞（200回）
1年	64	40	22	6
2年	64	33	13	
3年	61	32		

おぼつかない筆ペンを使って名前を書いています。嬉しいのは努力賞や奨励賞が少しずつ増えていることです。また、2学期の途中に3年生で努力賞を受賞してくれた生徒がいたことです。そのような地道な努力も称えたいと思っています。かなうことなら、全生徒が努力賞だけは手にしてくれることが願いです。さて、昨年度からお知らせしてあったとおり、優秀賞からは、それまでの校長室での表彰ではなく、全校生徒の前で表彰します。

本年は、「中学生からの提案・発信」に「防犯@西朝明」で生徒会が応募してくれました。

これは、中学生と地域が連携して何かに取り組むとか、中学生から地域に向けて何かをする、ということを大事にしたいと企画されているものです。本校が「防災@西朝明」で地域の方々にお世話になったお返しとして生徒会が発案したものです。

その結果、昨年に引き続き入賞を果たし最終プレゼンに残りました。このことだけでも2年連続の快挙です。昨年に引き続きの入賞・最終審査出場というのは、県内でも本校だけだということも快挙だと言えます。去る、12月14日に三重県総合文化センターで行われた最終プレゼンの結果は、優秀賞でした。生徒会、その中でもとりわけ本部役員の皆さんが、夏休み前から調査したり、四日市北警察署にお邪魔して教えていただいたり、そしてパワーポイントを作成して、原稿を書いて、と様々な準備をしてくれました。防犯@西朝明は、八郷西地区で自治会や育成会の皆さんにお骨折りいただき、8月に、あかつき台2・4丁目集会所で初めて披露しました。その内容が伊勢新聞に掲載され、8月末には中日新聞にも載せていただきました。続いて、下野地区では10月から11月に、活き城ネットの皆さんにお世話になり、定例の場で時間をいただき、山城町・八千代台・あさけが丘の3会場で披露させていただきました。計4回の発表では延べ200人超の皆さんに聴いていただけたと感激しております。



生徒たちの発表の際には、「もっと、こうしたら良くなる」というご意見を沢山いただき、参考にさせていただきました。

それぞれの地域の各団体の皆様に、そして四日市北警察署に大変お世話になり、おかげさまで優秀賞をいただくことができました。紙面をお借りしてお礼申し上げます。今後も本校生徒を温かく見守っていただき、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

なお、この生徒会の活動について明日、四日市北警察署長様から、感謝状を頂戴することになっておりますこともお伝えさせていただきます。

冬休みになります。短い期間ですが、ふだんではお会いしない親戚の方とお話したり、滅多に行かない場所を訪れたりすることもあると思います。いつも冬休みを迎えるにあたって思うことは、

①せっかくの機会だから大切に ②十分考えて ③健康管理
ということです。

①は、滅多にお会いしない親戚のおじさん・おばさん・いとこ等の方たちとお話したら、ア 今の職業のやりがいは何ですか？

イ その職業に就くにはどういう進路を選ぶのですか？ ウ 中学生の時代にはどうやって過ごしていたのですか？ 等々、お尋ねして教えてもらってほしいのです。そう、滅多にない人生勉強の機会なのです。楽しい時間のどこかでふと、尋ねてみたいものです。

②十分考えて とは、生徒の皆さんが少なからず手にするであろう、お年玉のことです。いつもなら手にすることのない大金を手にして、散財してしまい無駄遣いにならないように願っています。昨年の終業式に話しましたが、私はお年玉を使ったことがありません。皆さんにも使わないように、と言っているのではありません。誤解はしないでください。お年玉の使い道は、それぞれのお考えがあって良いのですから。私は母子家庭で育ち、いとこが沢山いました。おじさんやおばさんがお年玉をくると、母はいとこにお年玉を渡しているのです。つまり、私がお年玉をもらう時には、必ず母はいとこに渡して出ていくわけですから、経済的にもそんな余裕がないことはわかっていたので、もらったお年玉袋は、そのまま母に渡していたのです。

生徒の皆さんがお年玉をもらって、嬉しくなり好きな物を買ったり、食べたり、ということは一向に構いません。でも、忘れないでほしいのは、上述のように親は他の子にあげていて、出費しているということと、お金は労働の対価として得られたもので貴重なものだということです。だから決して無駄遣いはしないでください。

③健康管理 とは、年末だ！お正月だ！その前にクリスマスだ！と浮かれてしまうことが多くて、睡眠と起床の時刻が不規則になってしまったり生活リズムが崩れてしまうことがまず、懸念の第1です。私はキリスト教徒ではありませんが、娘のために20数年前ではクリスマスケーキを買っていました。年末は、除夜の鐘以降も寝ませんし、元旦からは初詣やらと非日常が続くのが恒例行事になってしまっています。当然、飲食する物もいつもと違うので、つい食べ過ぎたりして暴饮暴食という有様になってしまいます。それが第2の心配です。誘惑の多い冬休みに、生活リズムの乱れと食生活の乱れが重なって、健康管理に細心の注意が必要になるわけです。

短い休業期間ですから、十分満喫してほしいと願っています。ご家族で話し合って年末年始のスケジュールを確認しておきましょう。冬季休業中の部活動や3年生なら学習計画も交えて計画することを忘れないでください。何をしっかりやって満喫するのか、何と何と何……をスケジュールに入れて満喫するのか、それぞれが異なるはずですが、その中には、学校の課題も当然、含まれるでしょう。さらに、いろんな募集に応募してみて挑戦することも含んでください。何でも挑戦してみて、自分の可能性を試してみることは、学生のうちに是非、やってほしいことです。「字がうまい」「絵がうまい」「作文が得意だ」「短歌がおもしろい」「ポスターをかくのが好きだ」……、何でもいいと思うのです。他の人と比べて優れているというだけでなく、自分の興味が向いている方向を知ることが最も意味あることだと思います。それが、将来の職業や生活の仕方に良い判断材料を与えるのではないかと思います。

